

長崎市立三川中学校 学校だより HP

「緑のそよ風」

第13号 令和7年12月3(水)

文責 校長 井上博之



○ 3校合同メディアコントロールチャレンジの結果

10/6(月)～19(日)でメディアコントロールチャレンジを実施し、10/24までに各クラスの保健給食部が結果を回収して集約し、成果が保健室外の掲示板に掲載されました。その結果、優秀クラス1位は1年1組、2位は2年2組でした。この取組の前後で、『メディアを長時間使う人が減少』『就寝時刻が早まった人が増加』『休日に9時以降に起床する人が減少』『7時間以上の睡眠をとる人の増加』等の効果が見られました。メディアの使い方を改善し、睡眠時間を確保できる人が増えたことが分かりました。これから感染症が心配な季節となります。免疫を高め、心身の健康を維持できるよう、メディアコントロールと睡眠時間の確保を今後も引き続き意識して生活してほしいと思います。



○ 福祉体験

11/6(木)5,6校時に、2年生が人権学習の取組として福祉体験学習を行いました。今回の目的は「高齢者の身体と心を感じる体験を通して、助け合うことの大切さを学ぶ機会とする」とし、体育館を5つのブースに分け、シニア体験メニューをペアで交互に行いました。講師には長崎市社会福祉協議会から本村様、長崎市同和人権推進委員から横山様と橋本様にお願いしました。平和人権実行委員の6人が会場設営や準備、司会進行を行ってくれました。講師の紹介の後、シニア体験用セット『おいたろう』(ゴーグル、イヤーマフ、膝とひじのサポーター、手足や体への重り)を装着し、杖を持って体育館の階段とステージをペアに補助してもらいながら歩きました。ゴーグルで視力と視野が低下し、関節のサポーターと重りで体の動きが制限された状態で移動するのに苦労していました。次に各コーナーで、おはじきを箸でつかんで移動させたり、新聞の小さな文字を必死で読んだり、滑る軍手でペットボトルの蓋開けや薄いカードの選び出し、折り紙を折る体験等を行い、日常の動作が困難な状況を体感しました。最後に「手紙～親愛なる子供たちへ～」という、心にしみる朗読を聞き、体の不自由な方やお年寄りに対する敬愛と思いやりの大切さを実感しました。



○ 性教育講話

11/7(金)5校時に1年生、6校時に2、3年生を対象とした『性教育講演会』を開催しました。講師は昨年度と同じく、長崎県子ども若者総合相談センター相談員で、長崎性教育コミュニティーアスター共同代表、市内の婦人科クリニックの看護師でもある、中山安彩美様にお願いしました。1年生には「こころとからだ」について、プライベート-partsとは何か？ルールと約束、自分と相手との境界線（心・体・持ち物）等の話を聞きました。2、3年生に対しては、思春期の特徴、LGBTQ+、SOGIEの意味、バウンダリー、交際、プライベート-partsのルール、二�性徴、男性と女性の成長と体の仕組み、性の悩み、避妊、妊娠と妊娠期の赤ちゃん・母体の様子等、自分の体と性、人の命につながる大切な多くの事を学ぶ貴重な機会となりました。生徒も真剣な様子で参加していました。



○ グランドゴルフ大会

11/16(日)9時より、第3回三原校区連合自治会グランドゴルフ大会が本校グランドで行われました。男子バスケ部の生徒と保護者の方も多数参加していただき、さわやかな秋晴れの中、地域の方々と楽しく交流することができました。始めにルールやチーム分け、コースの説明を受けた後、1チーム6~7人で競技を行いました。ホールインワンが何人も出ていました。最後には早い者勝ちのホールインワンチャレンジもあり、閉会式ではホールインワン賞、各部門（成人男・女、中学生、小学生等）上位選手の発表と賞品の授与が行われました。男子バスケ部の生徒と保護者が何人も上位に入り、多数の賞品をゲットしていました。私も賞品のおつまみをゲットできました。生徒や保護者、地域の方々と最後まで楽しく、とても幸せな時間を過ごせました。企画・準備・運営をしていただいた自治会の皆様、参加していただいた生徒・保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。



○ 公開授業、校内研修

11/13(木)に長崎市教育委員会指定、保健体育科の公開授業と授業研究会、11/17(月)に4つの公開授業と研究協議が行われました。13日には50人以上の先生方が3年生体育科「ハンドボール」の授業を参観され、その後授業研究会が熱心に行われました。17日は協働型計画訪問授業公開として美術、家庭科、理科、自立活動の授業を公開し、研究協議を行いました。30人以上の先生方が来校されました。どちらも公開授業は事前の指導案検討から時間をかけ、保健体育科の研究や、本校の校内研究の内容を踏まえて様々な工夫が見られました。授業での生徒の真面目な授業態度をはじめ、授業以外での生徒の明るいあいさつや校内の誘導にも多くの先生方が感心されていました。また、研究協議も主題に沿って、授業や研究の内容について様々な意見が交わされ、私たちも授業力向上のための貴重な研修となりました。



○ 長崎県中学校総合文化祭

11/19(水)~20(木)に、長与町民文化ホールにて第20回長崎県中学校総合文化祭西彼・西海大会が開催されました。この大会は「県内全ての中学生を対象に文科系の部活動や地域クラブ、教科等の学習成果を発表・鑑賞する機会と交流の場を提供することで、生徒の豊かな感性を育て、創造的な人間の育成を図ること」を目的とし、毎年各地区で開催されています。19日は展示作品（書写、絵画、理科、技術/家庭科、特別支援学校/学級作品等）489点が展示され、20日には離島を含む県内各地から生徒307人が舞台の部に出演し、郷土芸能や太鼓、意見発表、演劇や合唱、ハンドベル、吹奏楽、オーケストラ等、素晴らしいパフォーマンスで感動を与えました。司会進行も生徒実行委員が行いました。本校からも展示の部で絵画と書写の素晴らしい生徒作品が学校代表として展示され、表彰状が授与されました。



○ 体験学習会

11/21(金)10時から、長崎県立総合体育館メインアリーナにて、長崎市中学校特別支援教育研究会体験学習会が開催されました。開会式と説明の後、地区ごとに4つの班に分かれ、ディスクゲッター、ヨーグルトカップ、ボッチャ、展示作品展見学の4つのブースをローテーションしながら体験活動を行いました。特に「ボッチャ」は奥が深く、ゲーム性も高いので戦略と技術が必要で、盛り上がりしました。担当の先生方やボランティアの方々のご協力で多くの生徒が楽しく交流体験ができました。ありがとうございました。

